

授業科目	母性看護実習	3 学年・後期・2 単位 (90 時間)	
		看護	必修

科目担当責任者	正岡 経子 (保健医療学研究棟 E310 号) e-mail : k.masaoka@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	林 佳子、前田 尚美、白井 紀子、植木 瞳、中村 彩希子、(橋本 恵利子)、(石井 あゆみ)		
概要	本科目では、妊娠・分娩期および産褥早期の女性とその新生児を対象とし、既習の知識や技術を基盤に対象者の理解とニーズに添った看護実践に必要な基本的能力を養う。具体的には、産後の母子 1 組を受け持ち看護過程の展開を通して、妊娠分娩経過および母子の健康状態の関連をふまえた看護実践を学習する。妊婦および産婦の看護については、実習状況において可能な範囲で体験する。対象者との関わりや日々の実習体験から自己の気づきを通して、看護ケアについての理解を深める。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受け持ち母子および家族と援助関係を築くことができる。 2. 母子および家族の価値・信念やペースを尊重した関わりができる。 3. 母子の健康状態および相互関係を理解し、母子のニーズを説明できる。 4. 周産期の経過および退院後の生活をふまえ、母子とその家族のニーズを説明できる。 5. 母子とその家族のニーズに合った看護を展開できる。 6. 退院後の母子の継続看護の必要性および他職種との連携、社会資源の活用について説明できる。 7. 母子の安全・安楽を考慮した看護実践ができる。 8. 対象者のプライバシーおよび守秘義務を守り、インフォームドコンセントに基づいた行動ができる。 9. 主体的に学習し、看護学生として責任ある行動をとることができる。 <ol style="list-style-type: none"> (1) チームメンバーと日々の学びや体験を共有することができる。 (2) 自己の課題を日々明確にし、主体的に実習に臨むことができる。 (3) 指導者に適時連絡や報告ができる。 (4) 看護学生として場に適した身だしなみ・態度をとることができる。 10. 実習体験を通して自己の気づきを表現でき、看護の役割について考えを述べることができる。 		
評価	実習状況、実習態度、記録物、カンファレンスでの発言や参加状況から、ルーブリック評価表(目標 2・3・10:各 10%、目標 1・7:各 8%、目標 4・5・8:各 7%、目標 6:5%、目標 9:28%)に基づいて目標到達度を評価する。実習評価表は開講時に提示する。		
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目は母性看護方法の単位を取得していなければ履修できない。 ・原則として欠席、遅刻、早退は認めない。正当事由によりやむを得ない場合は必ず事前に連絡する。 		

内 容 ・ 方 法	
実習方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生は3~6名のグループに分かれ、産科病棟で2週間実習する。 2. 受け持ち対象者は、原則、正常経過の母子1組とするが、帝王切開分娩で順調に経過している母子も含む。 3. 受け持ち母子に実施したケアは、所定の記録用紙にまとめ実習最終日に提出する。 4. 施設内および学内カンファレンスを行い、各実習施設で行った実習体験を共有し、母子看護の学習を深める。
実習期間	9月から12月の中で2週間(予定)
実習場所	札幌医科大学附属病院、JCHO 北海道病院、手稲溪仁会病院
実習時間	基本的に9:00~16:00とする。ただし実習施設や対象者の状況により変更する。

実習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母子(褥婦、新生児)を受け持ち、対象者および家族とのコミュニケーションを通して援助関係を構築する。 2. 褥婦の妊娠・分娩経過をふまえ、母子の相互作用を考慮しながら看護過程を展開する。 3. 新生児については、胎児期および出生時の状態をふまえ、健康状態の観察および基本的な新生児ケアを実施する。 4. 産婦の看護は、可能な限り分娩第1期から4期までとするが、状況に応じて途中からケアに関わることもある。 5. 母親学級などの集団指導については、可能な範囲で見学・参加する。 6. 妊婦のケアは、実習状況に応じて可能な範囲で見学・実施する。 7. NICU 見学実習の機会があれば積極的に参加し、ハイリスク新生児のケア環境や母子分離時の看護について学ぶ。 8. 実習施設でのカンファレンスは、1回以上行い各自の看護体験を共有し実習内容の充実に役立てる。 9. 学内カンファレンスは、実習最終日に行い各実習施設での実習体験や気づきを共有し、看護者に必要な能力および役割について理解を深める。
------	--